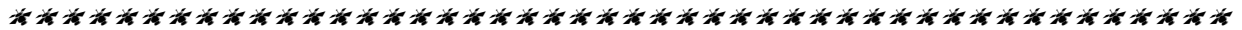




2022年12月会報 第338号

- 2022 国際会長(IP) Samuel Chacko (Indea)
 主 題 “Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT”
 「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」
 スローガン“BEYOND SELF and BE THE CHANGE” 「自己を超えて、変化を起こそう」
 アジア太平洋地域会長(AP) Chen Ming Chen (Taiwan)
 ~ 主 題 “Elegantly Change with New Era” 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
 スローガン“Doing It Right Now” 「今すぐ実行を」
 東日本区理事(RD) 佐藤重良 (甲府 21)
 2023 主 題 “Let's act now for the future” 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
 スローガン“Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself!”
 「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」
 湘南・沖縄部部長(DG) 小松仲史 (厚木)
 主 題 主 題 「楽しく・元気よく・前向きに」・副 題: 入りたくなるワイズにしよう
 クラブ会長 吉原 訓 会長主題「原点回帰」
 副会長 若木一美・書記 加藤利榮・会計・岡 進・メネット 吉原和子・担当主事 瀬戸俊孝



《会員ひと言》 ☆ 'Change!2022' の行状… ☆

◎今月の聖句◎



浦出 昭吉

今から1年ほど前の昨年度の初めころ、
 “来年は、ワイズ生誕百年なので、現在の
 メンバー数を大幅に “ということで東日本
 区ではTW22、つまり Towards 2022
 ⇒ Challenge 2022、そして Change!
 2022へと発展・提唱、東日本区の場合は当初の770名
 から1246名を目標に… ということで見事達成しました。

さて、10月末現在の状況は…と申しますと、私の手持ち
 資料に誤りが無ければ、14名増の784名になっています。
 素人の手打ちそば…ではありませんが、思うようには伸び
 ないな…というのが滲らざる思いです。皆さんはいかにお思
 いでしょうか…。 閑話休題、そんなことよりもその前に
 ちょっと心配なのは、私自身の身体の調子の事です…。 朝
 何気なくベッドから起き上がろうとして、足が思うように
 前に出ません…。 こういうことって、一旦、気になると、忘れ
 ようにも頭のスミにこびりついたようになってしまっていて、
 それ以来、ここひと月ほど、YMCAの集まりにも欠席しがち
 になってきました…。 そーいえば先だっては加藤ワイズも
 例会には出てこれませんでした。 当方もそろそろ…。

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名は
 インマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共に
 おられる」という意味である。

～マタイによる福音書第1章23節～

イエス・キリストは別名をインマヌエルと呼ばれ、聖句
 にあるように、「神、我らと共にいます」という意味です。
 マリアが身ごもって子を産んだ所は小さな家畜小屋で
 した。その家畜小屋で生まれたイエスは、あなたの心に
 クリスマスのスピリットをもたらしてくれます。

強調月間

キリスト教理解・IBC

12月8日は、ワイズの創始者P.W.アレキサンダー
 生誕の日、この日を祈念し世界のワイズが午後8時に
 「共に祈る時」をもって地球上を輪でつなごうと願うこ
 とから「祈りの輪」と言い、その理解を深めようの意。

IBCは、International Brother Clubsの略で、
 国際兄弟クラブ、つまり国外のクラブと提携して永続
 的な交流を図るのがその狙い。DBCはその国内版。

会員数	11月の会合			出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOF・ A S F	B A P Y	ロ	バ
メ	ン	メ	ン		他	(円)	(g)			(円)	(円)	(円)	(円)
11	8	92%											
メネット	8	メネット	0										
		ゲストら	5										
計	19	合計	13										
					前月迄		0		0		0		0
					当 月		0		0		0		0
					累 計		0		0		0		0

★強い義務感を持つと 義務はすべての権利に伴う★



日時：2022年11月15日（火）18：30～20：00
 場所：湘南とつかYMCA・1階ホール
 出席者：（ゲスト）田邊・田村・高井・齋藤：
 いずれも湘南とつかYMCA リーダー諸君
 （ビジター）川口：厚木クラブ
 浦出・岡・加藤・鈴木・瀬戸・土方・吉原・若木
 ～計13名・敬称略～

11月期の例会、定刻、加藤さんの司会・会長の開会点鐘から始まりました。今夜も未だに「食事なし」のやや味気ない集まりながら茶菓の差入れなどもあり、ムードは明るく・上昇気味です。

プログラムは進んで、いよいよ「リーダー研修会参加報告」は瀬戸担当主事からリーダーの紹介や研修内容の説明がなされて、その第一は、「第34回東日本YMCAユースボランティアリーダーズフォーラム」には、田邊・田村の両リーダーの参加報告、本来、この研修は、当初、第1回は東京・晴海に接岸中の日本丸船上において、ワイズが主催して開かれたが、もう34年になるか…とやや感慨に似たものが去来していた。また、次の「第53回全国YMCAリーダー研修会」はYMCA主催で、今回で53年目を迎えたが、

こちらは対象者ゼンコクということで、フォーラムが山中湖畔を会場にしているのとは異なり、研修場も今回は熊本の阿蘇高原施設ということで、報告を伺っていても大変興味がありました。両者とも、「リーダーに求められているものは何か、何が一番大切か、今後いかにしたら、よいリーダー・頼り甲斐のあるリーダーについて、考えていかねばならないか。」等の報告でした。記念撮影後、閉会、それぞれ帰路につきました。



☆3年ぶりの‘イ～とつか祭り’☆ 若木 一美

11月3日、秋晴れ（ハレの特異日？）の下、3年ぶりとなった‘イ～とつか祭り’が湘南とつかYMCAを会場に、人を集めて開催され、また、同日開催の東戸塚小学校での区民祭も同時開催され、どちらも盛会でした。

私たちは、いつもの「のみの市」ではなく、1階の事務所受付前でパオセンターのクラフト販売を7名で行いました。筆入れや小物入れ等、パオセンターの人々が制作した品物40点ほどがありました。終わりの14時ころには数点を残して販売を終了しました。売り子さんは、鈴木・土方・吉原・若木の女性陣と、岡・吉原・若木の男性陣の計7名でした。（後記「トピックス参照」）

途中、11時と13時にリーダーの皆さんと「ごみ拾い」に…。午前中は柏尾川沿いを中心に…。川に降りる階段のある箇所は、「居場所」なのか、大量のゴミがありました。午後は参加者の親子連れも加わり、東戸塚小学校周辺からYMCAの施設までの範囲を実施、両親と参加した小さなお子さんも一緒に一生懸命、拾っておりました。



コロナ対策で館内での飲食禁止、「のみの市」等も中止と、かなり縮小しての開催、中には「…バーガーは無いの？」などの質問も出て、勝田実行委員長、瀬戸担当職員とも、来年こそは今までのように…と、言葉を交わしておりました。



帰途、近くの喫茶店で休憩後、帰路につきました。

☆ 久しぶりで‘YOU&Iコンサート’が ☆ 加藤 利榮

横浜つづきクラブが主催する‘You&Iコンサート’がコロナ禍での中断を終え、11月12日（土）・14時から都築公会堂で開かれました。今回は10回目に当たるいわばフシメともいえるイベント、例によりチケットはクラブで10枚マトメ買いしていることもあり、穏やかな日の午後、出掛けてきました。

“すべての「いのち」が大切にされ、互いに支え合い、ともに生きる喜びを分かち合える社会の実現を目指しています。”と冒頭、今城会長のご挨拶で始まりました。



場内は、車いすの親子連れなど350名ほどの来場者で埋め尽くされ、またYMCAのスタッフやワイズの仲間も顔を揃えています。

定刻の午後2時、横浜室内合奏団によるモーツァルトのセレナーデの演奏で幕開きです。6曲ほど演奏の後、小憩を挟んで、歌劇「桃太郎」（佐藤大祐作）が上演され、会場からはやんやの歓声が挙がっておりました。

終わりは、例により、場内全員で永六輔作詞・いずみたく作曲の「見上げてごらん夜の星を」を合唱し、記念品贈呈もあって、午後4時終了・解散しました。



特別寄稿

☆ Change! 2022 ご協力に感謝! ☆

Change! 2022 推進委員会 委員長 栗本 治郎



Change! 2022 プロジェクトは12月末で終了いたします。東日本区がスタートした1997年の会員数1,246名を目標に会員増強を推進することで。最初にEMCアンケート(クラブ・個人)を行い、2019年7月より『Change! 2022』が正式にスタートしました。2020年2月に開催したEMCシンポジウムを最後に、コロナの影響で区大会の中止などメンバーが多く集う会合は全く開けなくなりました。クラブ例会の中止や活動の停滞を余儀なくされました。

この間、Change! 2022 委員会ではZOOMでYMCA委員会を開き、毎月発行するChange! 2022 ニュースを通して、様々な発信をしてきました。アクションプランによるCS活動やSNSの活用による知名度の向上。ライブとリモートのハイブリット例会の提唱。スマホ専用サイト『動画で分かるワイズメンズクラブ』カードの配布。リモートによる『ワイズ・ナイトフォーラム』を6回開催し、コロナ禍の中でワイズ間の交流を図りました。

今期は、YMCA機関誌にワイズ情報を掲載する企画とワイズポスターを作成し、各YMCAの施設に掲示し、YMCAのリーダーOB/OGやYMCA関係者にワイズをより知ってもらう企画をいたしました。YMCA機関誌にワイズの記事を載せることは、湘南・沖縄部では既に実施されておりますが、東日本区の各YMCAにも普及させ、中・長期的に会員増強の芽を育てていきたいと思っております。

湘南・沖縄部は、エクステンション委員会が最も精力的に活動されています。2019年に横浜つるみクラブをチャーターさせ、現在、若木さん、板崎さんをリーダーとするチームを作り、新クラブ設立に取り組まれておられるとのこと、感謝申し上げます。

4年にわたる活動でしたが、私自身の力不足のためChange! 2022の提唱・思いを会員一人一人に浸透させるに至らず、会員の減少を停めることが出来ませんでした。然しながら、様々な提言やツールは、今後のEMC活動に生かされていくことと期待しています。

なお、Change! 2022 ニュース 42号(12月)の最終号に、4年間の歩みと総括が掲載されますので、ぜひご一読ください。

終わりに、加藤利榮さまから‘横浜YMCAニュース’を参考にと送っていただいております。ご協力に感謝申し上げます。

(栗本様 お忙しい中、ご投稿、誠に有り難うございました。B/f)

随想

☆私のライフスタイル 健幸華齢の勧め☆

厚木クラブ 佐藤 節子



人生100年時代の到来! 生かされている人生をいかに心豊かに自立した生活を過ごすか。私の生涯ライフスタイルを、『元気で長生きするためには、運動を習慣化して生活習慣を予防改善できる、メリハリのある生活をしましょう。』『健康の三大要素は、運動・栄養・休養です。』など、人様に健康の大切さを楽しく伝えていきます。…とはいうものの、つい、「休養」が取れていない生活をしてしまいます。(24時までには就寝するように努力!)

私に、今、「あなたは、健康ですか。」と問われたら、胸張って、「健康です。」と言い切れず、しかし「病気ではない。」中間状態?を改善するため自分の体をメンテナンスしながら、楽しく、カラ元気ですが、‘モリモリ’活動しています。

YMCAとともに生きるためにも、不健康・枯齢にならないように自戒を込めて、田中喜代次筑波大学名誉教授が提唱されている健幸華麗の一端を紹介します。

健幸華齢とは

健: 5つの快(快眠・快汗・快食・快浴・快便)

幸: 心と体で対話し、心豊かに平穏であること。

華: 仲間との交流のために積極的に外出し、日々を楽しむこと。

齢: 老いを受容し、スマートに(賢く) 齢を重ねること。

まだまだ、夢と希望がたくさんあります。実現可能に向けて、人生を謳歌したいと思っております。

《以下、ご参考までに…》

「良質な睡眠」(快眠)は認知症までも予防してくれます…。

精神科専門医で

甲府21クラブの

功刀 弘 先生

が、この冊子に縷々述べておられます。



《レザン通信》

☆ 地産地消に取り組んで… ☆

横浜YMCAワークサポートセンター 相馬良文



レザンでは、カフェの材料の地産地消に取り組んでいます。戸塚区の深谷町にある地域作業所「工房いなほ」さんとは、食材を通して交流をしています。

10月28日「工房いなほ」さんの畑でサツマイモの収穫体験を行いました。「土にふれると心が落ち着く。」

「がんばって掘りました。」など様々な感想を聞くことができ

ました。収穫後は、焼き芋の試食をさせていただき、大満足でした。

これからも交流を続けていきたいと思っております。





～多様性を理解し認め合う～ 瀬戸俊孝
 第25回横浜YMCA インターナショナル・チャリティーランが、今年も22年10月15日、リアル大会と、10月17日～31日の期間のオンライン大会のハイブリッド方式で行われました。新型コロナウイルスの影響で2年間のオンライン大会を開催し、また3年ぶりの対面でのリアル大会ということで、安全に配慮しながら式典の縮小、時間差でのレースなど工夫を施した大会となりました。

今回は、パラスポーツの選手を招待し特別ランナーとして走っていただきました。多くの参加者が直接、車イスや視覚障がいの方々と触れることで、多様性を理解する機会になれば幸いです。

大会全体では、オンライン、リアル両者併せて85チーム、個人エントリー27名、総勢450名を超える参加者が集まりました。募金総額は、約450万円となりました。オンライン大会もアプリを使って歩数を競い合い、Web上で「離れていてもつながっている」を目標に皆で一丸となって楽しみながら歩くことができました。

ワイズの皆さんには、共催という形でチームのスポンサーに始まり、大会当日は特別賞の選定をいただき、ワイズ賞として表彰させていただきました。

厳しい社会状況の中でも、協力頂いたワイズの皆さんや賛助会を始めとする企業の皆さんに改めて感謝申し上げます。

集められた募金は、YMCAで行われる障害のある子どもたちのプログラムを実施する際の補助にさせていただきます。

これからも応援のほど、宜しく申し上げます。



- ◎ 12月6日(火) 96回 Y-Y's協・とつかYMCA
- ◎ 12月17日(土) 14時・YMCA Xmas・海岸協会
- ◎ 12月20日(火) 第2例会 18時・湘南とつかホール
 近くなりましたら、瀬戸担当主事からご案内・確認をさせていただきます。

Happy Birthday
 該当者なし

☆ トピックス ☆

加藤利榮

(その一) あの谷治さんが…

あの谷治さんが亡くなった…。榎藤さんのメールで10月27日の午後・急性心不全・享年80歳とのこと、東京町田コスモスの現役会長でした。旅行代理業だったことから、ワイズの国際大会など国内外の催しには、私を始め多くのワイズがすべて彼任せで参加したものでした。

祈 平安

(その二) そして、あの布上さんも…

東京グリーンの布上さんが…。樋口会長様のメールによれば、ご病気療養中のところ11月13日亡くなられた、享年80歳。「ぼくは、戦時中の昭和17年生まれなので、親が出征の『征』の字を名前に付けた…」とよく語っておられた。当時、神田・美土代町の旧東京MCAの建物の脇に入ったところにおられ、お邪魔したことも。

祈 平安

(その三) 「感謝賞」を頂きました

このほど日本YMCA同盟から表題の賞を頂きに11月26日東山荘へ…。受賞者の中では一番の年配者でした。周りに支えられながら何とか今日まで…。しみじみ肌で感じたひと時でした。

『いつになく、トシを意識したひと時に…。』

(その四) 'イ〜とつか祭り' でパヤオクラフトが…

パヤオ、ご存じ、タイ国の北部に在って、チェンマイとかチェンライなどの街で知られています。

付近には、その国の北方民族が在住していて、子どもたちの人身売買などが盛んに行われていたため、30年ほど前に、これに着目した横浜YMCAはバンコクのYMCAと協働してパヤオセンターを設立、そこを拠点にプロテクト・ア・チャイルド事業として同センターで作られた製品をパヤオクラフトと名付け、その救援販売に乗り出した…。

当時、現地を訪れたころを懐かしく思い出していた。

『パヤオクラフトをお忘れなく…。』

(その五) ハシの特異日…

前後の日には比べ偶然とは思えぬ程の高い確率でハシの気象状態になることで、11/3のほか1/16・3/14・6/1 も、日本ではハシの「特異日」とか…。

《後記》 いよいよ押し詰まりました…。皆様 佳いお年を…。<B/8>